

保険診療における 間接法メタルフリー歯冠修復

-CAD/CAM冠・インレー、PEEK冠、
エンドクラウンについて-

講師 坪田 有史先生

(坪田デンタルクリニック院長)

日時 11月5日(水)19時半~21時

対象 会員限定 ※無料 この機会にぜひご入会ください。

受講方法 ZOOMウェビナー



【ご略歴】

1989年 3月 鶴見大学歯学部 卒業
1994年 3月 鶴見大学大学院歯学研究科修了博士(歯学)
1994年 4月 鶴見大学歯学部歯科補綴学第2講座 助手
2001年 4月 日本補綴歯科学会 専門医
2001年10月 日本接着歯学会 接着歯科治療認定医
2003年 8月 日本歯科理工学会 Dental
Materials Senior Adviser
2007年 4月 鶴見大学歯学部歯科補綴学第2講座 助教
2007年 9月 日本補綴歯科学会 指導医
2012年 1月 坪田デンタルクリニック 院長

2012年 4月 鶴見大学歯学部 臨床教授
日本接着歯学会 理事
2013年 4月 鶴見大学歯学部 非常勤講師
2015年 6月 東京歯科保険医協会 副会長
2017年 6月 東京歯科保険医協会 会長
2022年 6月(一社)日本接着歯学会 理事長
2023年 7月 日本歯科医学会 理事
2024年 4月 鶴見大学歯学部 臨床教授
2025年 6月 東京歯科保険医協会 副会長

【坪田先生から】

現在、2026年度診療報酬改定の議論が進められ、注目されています。前回の2024年度改定は4月、施行は6月でした。その改定は、新設項目や要件変更の項目が多くあり、全体的に理解が困難で複雑な改定でした。間接法の歯冠修復において、2023年12月に期中収載されたPEEK冠を含め、CAD/CAM冠・インレーの適用拡大、エンドクラウンの新設、またインセンティブとしてCAD/CAMインレーの形成加算(150点)が設定され、非金属修復に誘導する方向性が示されました。とくに間接法のメタルフリー修復では、窩洞や支台歯形態の理解、ならびに歯科接着の活用が必須であり、それらを理解し、習熟する必要があります。今回、間接法のメタルフリー修復について解説します。



左記二次元コードから
お申込みください。

※お申込みいただいたメールアドレス
に当日参加方法についてZOOMより
ご案内をお送りいたします。

健康保険で良い歯科医療をめざす

Fsn 福岡県歯科保険医協会